

平成30年度全国総合体育大会

バスケットボール競技大会札幌支部予選会結果報告

5月28日(月)		1回戦			
○	90	$\left[\begin{array}{l} 18 - 13 \\ 13 - 13 \\ 40 - 16 \\ 19 - 20 \end{array} \right]$	62	平岸	3P29% 2P41% FT54% OR41% DR76% TO15本
5月29日(火)		2回戦			
○	52	$\left[\begin{array}{l} 15 - 10 \\ 10 - 15 \\ 16 - 7 \\ 11 - 17 \end{array} \right]$	49	啓成	3P20% 2P28% FT50% OR31% DR53% TO32本
5月30日(水)		3回戦			
x	52	$\left[\begin{array}{l} 9 - 17 \\ 12 - 19 \\ 23 - 16 \\ 8 - 32 \end{array} \right]$	84	北斗	3P19% 2P24% FT73% OR25% DR64% TO22本
3P:3点, 2P:2点, FT:フリースロー, OR:オフェンスリバウンド, DR:ディフェンスリバウンド, TO:ターンオーバー の略					

今回は組合せに恵まれ、3回戦で第8シードの札幌北斗に勝つことができれば、10年ぶりの全道出場でした。

初戦、平岸は今のチームになってから何度も練習試合をしており、毎回勝っていましたが、それだけに相手も破れかぶれでかかってきました。案の定、前半は5点差で折り返します。第3ピリオドで、漸くエンジンがかかり、一気に29点差をつけ試合を決定づけました。この試合は、1年生も含め、登録メンバー全員が出場しました。

2回戦は、啓成とでした。啓成は身長もあり、またディフェンスがゾーンということで、攻めることができるか心配な部分がありました。何とか、ディフェンスを頑張って、スチールから速攻という展開で主導権を握ります。第1ピリオドは順当に5点リード。しかし、第2ピリオドは予測していた通り、攻守の切り替えが遅く、ゾーンを攻めあぐみ一進一退。

前半終了時には 25-25 の同点にされてしまいました。

25 点しか入れられないのは、完全に啓成のペースという感じです。

第 3 ペリオド、オールコートでプレスを仕掛けすぐに 10 点くらいのリードを奪います。そこからなかなか突き放すことができません。啓成も粘り強くていきます。第 4 ペリオドになると、10 点差をひっくり返そうと今度は啓成がプレスを仕掛けてきます。ここで、清田のポイントガードが 3 連続でターンオーバー。一気に 1 ゴール差に迫られました。残り 7 分くらいからは 1 点を争うスリリングな展開になります。ポイントガードのミスに続いて、今度はポイントゲッターが、いい加減なプレイをし、相手に 3P を決められ 47-47 の同点。残り時間 5 分。この窮地を救ってくれたのは、またしても 1 年生の日下部でした。ボールを受けると果敢に 1 対 1 を挑み、バスケットカウント 1 スローを決め 50-47。そこから、しばらく得点が出来ず膠着状態が続きますが、50-49 とされた後、主将酒井がフリースローを決め結局 52-49 の 3 点差で勝つことが出来ました。

3 回戦は、全道を掛けた北斗との対戦でした。1 番初めのシュートが抜いてレイアップをして欲しい場面だったが、ジャンプシュートをし、外してしまいます。そしてファール。2 年生のガードも立て続けにファールを取られてしまいます。ディフェンスも指示したことが最初はなかなかできずに、思うような展開とできません。第 1 ペリオド 9-17。第 2 ペリオド終了時に 21-36 とやや北斗ペースになってしまいました。

後半、漸くディフェンスが指示通りにできるようになり、負傷して今大会ベンチに温存していたポイントゲッターを投入。期待通り 3P を決めてくれ、流れが清田に傾きます。第 3 ペリオド残り 2 分で 41-44 と 3 点差。しかし、この後しなくても良いファールや、パスミスで 44-52 と第 3 ペリオド 8 点差で終了。第 4 ペリオドはもう限界だったのか、集中力のないプレイが初めから出てしまい一気の北斗に突き放され、結局 52 - 84 の大差での敗北となってしまいました。

平日の開催にもかかわらず、多数の保護者や OG の皆様に会場まで応援に来ていただきありがとうございました。また、今春卒業した代の OG 達は大会前の日曜日に練習に来てくれて、大変試合前の調整に役立ち助かりました。春季大会では、今大会ベスト 4 に入った恵庭南と前半同点。今回はベスト 8 のチームに第 3 ペリオドまで対等に戦うことが出来ました。次回の大会では、40 分間集中力を切らさず戦えるような体力や精神力に鍛え上げたいと思います。

今後とも、女子バスケットボール部の活動にご理解をよろしくお願いいたします。